

デーリー東北

2024年(令和6年)4月22日(月曜日) (6)

ニュースの 視点Q&A

八戸工業大(坂本植智学長)は18日、永住可能な在留資格「特定技能2号」を取得できる熟練外国人労働者の育成に向け、産学官連携による取り組みを開始した。建設、自動車整備、工業製品製造業分野の3コースを設け、留学生に6カ月間の専門教育を提供。最長5年働ける「特定技能1号」の取得を経て、修了後は就職先の国内企業で2号取得を目指す仕組み。工業系大学では先進的な試みで、企業の人手不足の解消、ものづくり産業への貢献、地域定住につなげたい考えた。(19日付の紙面から)

Q 特定技能って何?
A 深刻化する日本の労働力不足に対応し、即戦力となる外国人材を受け入れるため2019年4月に創設された在留資格。介護、

建設、農業などの分野があり、最長5年働ける1号と、熟練技能を要する2号があるよ。2号は配偶者と子どもも帯同が認められ、事実上永住も可能。23年12月末時点で1号は約20万8千人だが、2号は37人とまだ少ないんだ。

Q 産学官連携のポイントは。

A 八工大と青森県内外の企業、八戸市、登録支援機関のTSB・ケア・アカデミー(東京)が連携し、特定技能2号や高度技術者といったキャリアアップにつながる取り組みを展開するんだ。

八工大、熟練外国人労働者の育成支援

高度な技術持つ人材獲得へ



特定技能2号や高度技術者を目指し、八戸工業大で専門教育を受けるミャンマーの留学生=18日、八戸市

大学は専門教育を提供し、企業は就職の受け皿として内定を出した外国人材の学費を立て替えるよ。外国人材がその企業で3年就業した場合、学費が返済免除になる仕組み。市は住居として市営住宅を安価に貸し出し、TSBは人材募集や各種手続きなどを行う。来日の際に多額のマージン(手数料)が発生しない

のも特徴だよ。
Q 実際に来日する外国人材ってどんな人。
A 募集対象は大卒レベルで、日本語能力試験「N4」以上を取得した日本語を理解できる人材。4〜9月は建設と自動車整備の2コースにミャンマーから各4人が受講する。10〜3月に行われる工業製品製造業分野のコースには16人が来日する予定。ミャンマーは21年に軍事クーデターが発生し、優秀な人材が大学に行けず、仕事先もない状況が続いているんだ。

Q 大学の専門教育修了後はどうなる。
A 既に企業から内定が出ている外国人材が4人いるよ。六ヶ所村の附田建設と六ヶ所エンジニアリングに各1人、神奈川県の一社に2人。人手不足に悩む企業側になれば、職場のリーダーになり得る高度な技術を持った人材を獲得できるチャンスでもある。注目したい取り組みだね。

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。